燃料及び石油化学製品の高騰等の影響・動向

参考資料1

➢ **中東情勢の緊迫化を踏まえ、道内関係団体及び市町村に対し、価格及び供給量の変動による影響等に関するヒアリング・調査を実施。**（5月14日から6月1日の間で実施）

様々な石油化学製品において供給制限や欠品などの声が増え、幅広い業種に影響が広がるとともに、コスト上昇による資金繰りの悪化や資材不足による受注停止など、事業継続への不安の声が増えている。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
道民生活	◎灯油の需要期は過ぎたものの、日常生活で使用するほとんどの製品が石油化学製品であり、原油価格高騰による**物価上昇が避けられず影響は甚大**。 ■全産業に影響を与えることにより**一層の値上げラッシュが想定**されるとともに、長期化した場合、**冬期の灯油供給に不安**。**一部の商品の包装が白黒となる**などの報道があり、**消費者としては大きな不安**。
経済団体	◎幅広い製品で値上げが行われており、特に**シンナーや塗料の値上げが顕著**。包装資材においては一部ビニール袋、ガムテープの**入荷が停止**。**潤滑油類は制限・停止**が相次ぐ。 ■材料費・燃料費分上昇の価格転嫁による消費が減少することによる、**消費意欲の低下から買い控えが起こり、経済の減退が起こる恐れ**。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
農業	◎飼料・肥料等の調達に直ちに影響はないものの、飼料原料は上昇傾向。 ホクレンの令和8肥料年度の化学肥料について、平均で24.7%の値上げ。 ■燃料・生産資材の価格上昇や供給制約による営農活動への影響が懸念。
林業	◎燃料や苗木生産資材などの価格高騰に加え、製品の生産に必要な油脂類など資材の不足。 ■燃料や資材の価格高騰や資材の供給制限による、事業者の生産活動への影響や経営圧迫を懸念。
漁業	◎漁業用燃料の価格が、2月比で1．2倍、漁業用資材類の価格も上昇。資材類は在庫不足により一部において納期遅れや納期未定が発生。 ■燃料や資材、物流費の価格上昇による漁業活動等への影響や、漁協や漁業者、水産加工業者の経営圧迫を懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
土木工事	◎アスファルトの価格が高止まりしているほか、一部資材（燃料、シンナー、溶剤系塗料等）で大きく価格上昇している。また、塩ビ管などで出荷制限や品不足が発生。 ■資材の供給制限や品不足が長期化した場合、工期の延期や経営への影響などが懸念。
民間住宅工事	◎塗料、接着剤、断熱材、塩ビ管、ユニットバスなど多くの建設資材・住宅設備で受注制限や出荷停止などが発生し、一部の工事が遅延。また、これらの建材等については値上げも発生しており、住宅価格の高騰に直結。多くの顧客は融資限度額に余裕がなく、増額分を転嫁するのは困難な状況。 ■事業者は、値上げによる収益の圧迫や資金繰りの悪化を懸念しており、倒産の不安もあり。
建築工事	◎防水材料、塗料、断熱材料、内外装材、下地補修材などの価格高騰、受注停止や出荷制限などもあり。 ■資材の納期遅延や価格高騰の状況が長期化した場合、工期への影響や工事費の増加が懸念。
食料品製造	◎フィルムやトレーなど包装関連資材の価格が高騰するとともに、一部ビニール袋や梱包材の入荷が停止。ニトリルグローブの在庫がなくなり出荷されない事例があり。 ●包装関連資材の価格上昇による製品価格の上昇、消費者の買い控えを懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
木材・木製品製造	◎燃料や梱包資材などの価格高騰に加え、製品の生産に必要な油脂類や接着剤など資材の不足。 ■燃料や資材の価格高騰や資材の供給制限による、事業者の生産活動への影響や経営圧迫を懸念。
印刷関連	◎用紙・インキ・版材等、各メーカーから15～20%以上の価格改定が通知されているが、現状で供給面の不足はない。 ■顧客に対する価格転嫁に理解を求めることが困難であると予測。
医療機器・医薬品製造	◎医薬品容器、ビニール袋や緩衝剤など一部の衛生材料、包装資材等が供給制限や中止で入手困難となってきており、代替品で対応。 ■今後更なる値上げや出荷停止を予測。
樹脂加工	◎原材料（樹脂ペレット、エチレン）・資材・石油製品の価格が高騰している。 特に、シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が、品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
鉄鋼	◎特に、鉄の圧延や切削加工で使用する機械の油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念。
金属加工	◎特に、金属成型後の浸炭焼入れの工程で使用する油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念。
機械加工	◎特に、加工機械の潤滑油などが高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念。
自動車部品製造業	◎特に、製造機械の潤滑油や切削油のほか、製造工程にある浸炭焼入れ（鋼材強化のための熱処理）の工程で使用する油類が高騰。シンナー不足により、製造品の仕上げ加工（表面処理）の工程に使用する塗料が品薄、価格高騰。 ■仕入価格の上昇や原材料不足、資材納期の遅延が続くと、製造コストやランニングコストの更なる上昇が懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
エネルギー関係	◎今年3月以降の原油等の価格上昇が反映されたことにより、7月の電気・ガス料金については前月より上昇。電気・ガスの安定供給に大きな影響はない。 ■夏以降にお客様負担が増加すると想定されるが、国による電気・ガス料金負担軽減支援事業が実施される期間の増加影響は一定程度軽減される見込み。供給面への影響については、引き続き状況を注視。
運輸	◎価格は高止まりのまま、一部事業者で自社燃料貯蔵施設への配送を断られる状況は継続。エンジンオイル、尿素水や梱包資材等の石油関連製品は価格が上昇しており、一部受注停止や供給停止を受けるなど品不足の状況が拡大。 ■価格上昇による経営悪化や供給停止による運行停止など、道民はもとより、観光客なども利用するバスやタクシー、物流を担うトラックなどの運行が困難となる恐れ。車両整備に関する資材の価格上昇、供給不足が出ており、安全管理等に不安。
飲食料品卸売・小売	◎事業者によってはトレーなどの包装資材の価格が上昇、一部製品の入荷が止まっているものの、全体的には直接的な影響はまだ少ない。間接的には、メーカーの包装デザインの変更などの影響が顕在化。 ■小売業のバックヤードでの包装材料の値上げの影響や供給不安が、今後出てくることが予想される。商品価格の上昇に伴う、消費者の買い控えを懸念。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
宿泊	◎電気器具や資材の納品長期化により修繕に支障が出ている。ラップ類や食事に使用する固形燃料の入荷減少及び入手困難により、食事提供業務に影響が発生。 ■食材費やリネンのクリーニング等あらゆるコストの上昇による経営圧迫。また、修繕資材の不足やガソリン価格・航空運賃上昇による国内外の観光客の旅行需要の減少を懸念。
医療	◎手袋、滅菌パックや洗浄液等の衛生材料が出荷制限となり入手が困難。 ■衛生材料や麻酔薬等の医薬品の欠品、流通停止により、今後の医療提供体制に影響が出てくる恐れ。
金融	◎原油価格高騰に伴う運転資金の相談が寄せられており、増加傾向。 ■長期化するようであれば、同様の相談が増加していくことが想定。

区分	影響（◎：足元、■：先行きの懸念） 赤字＝主な影響
市町村	◎7割を超える市町村で、燃料の契約単価の改定や入札不落、業者から供給制限の可能性の打診、供給日の遅れ等が発生。また、建築資材や医療・介護資材、指定ゴミ袋等の調達にも影響あり。 ■9割を超える市町村で、価格上昇に伴う予算不足や入札不落、供給の不安定化に伴う事業の遅延や公共施設等の維持管理への影響を懸念。
北海道	◎燃料単価契約において契約変更の件数が増加。医療用等資機材の価格上昇や供給不安定に加え、薬品、試験検査用品や油脂類においても納期の変更や調達規模縮小、価格上昇の影響が出ている。 公共工事では、R8年度（～5/15）において8件の不調不落が発生しているものの、率としては過年度と同水準。（R8：2.7%、R7：3.0%、R6：2.6%） ■今後、調達等価格の上昇に伴う財政負担の増加や、供給不足に伴う事業の遅延等の状況を注視。